

史学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（ 共通・選択 ）

試験時間：（ 120 ）分

### 【 共通問題（博士前期課程・博士後期課程 共通） 】

問1の採点基準および解答のポイント

各自が専門とする地域・時代における歴史叙述と文学作品との密接な関係の具体例について正確な知識をもっているか。それを説明する日本語の表現は適切か。

問2の解答

マルクス

問3の採点基準および解答のポイント

歴史学においてマルクス主義の影響力が低下した原因について、日本の戦後歴史学のメタヒストリーの一部として説明できるか。また、それを説明する日本語の表現は適切か。

問4の採点基準および解答のポイント

歴史研究における事実とは何か、史料と事実との関係はどのように考えればよいのか、という歴史哲学・歴史理論における基本的な問題について、自己の考えを具体例をあげながら説明できるか。また、それを説明する日本語の表現は適切か。

### 【 博士後期課程 選択問題 】 解答のポイント・採点基準

1. 日本近世史研究における《社会集団》論および《身分的周縁》論の成果と課題を正確に理解しているか。また、これからの身分研究の論点、対象、方法について、みずからの考えを論じることができるか。
2. 16～17世紀スペイン社会史に関する論点の変化について正確に理解しているか。また、今後開拓すべきだと考える研究領域について、みずからの考えを論じることができるか。

### 【 博士前期課程 選択問題 】 解答のポイント・採点基準

《日本史》

1. 絵画を史料として研究する際の、美術史と歴史学の方法論的な相違点について理解しているか。また、日本中世の絵画の注文主（発願者）を探る研究を正確に把握しているか。
2. 武家故実の形成と展開について政権の諸段階と関連付けて論じることができるか。また、武家故実やその史料、それに関連する政治史について正確な知識をもっているか。
3. 戦国時代末期から江戸時代初期の民衆史を研究する際に、特に留意すべき点や問題となる点について論じることができるか。その際、特定の地域における宗教的、社会的背景の正確な具体例をあげることができるか。

《東洋史》

4. 清末から民国成立にいたる中国の政治思想史は、一般に、皇帝独裁の伝統的な王朝国家を温存しつつ各種の近代化を図る「洋務」から、王朝国家の立憲君主制への改変を目指す「変法」、さらには王朝国家それ自体を打倒対象とする「革命」という、3段階を経て発展してきたというのが通説である。このような通説をどの程度習得しているか（あるいは、批判的観点をもっているか）をみる。

5. 本問の採点基準は二つ。一つは、8年間にわたる日中戦争（1937～1945年）がどのように始まり、どのような展開をたどって終結にいたったか、という点を正確に記述する知識と表現力を身につけているか。もう一つは、多様な側面をもった日中戦争をどのような視点で論じているかをみる。

《西洋史》

6. 古代ローマのパトロネジについて、これまであきらかにされていることを正確に理解しているか。また、それについて自身の見解を述べることができるか。
7. 西洋史における「古代末期」について、これまで論じられていることを正確に理解しているか。また、それについて自身の見解を述べることができるか。
8. 18世紀ドイツの出版文化について、都市の活動やその性格を考える上で重要な具体例をあげながら、論じることができるか。
9. 19世紀のパリにおける劇場の発展と女優の活動について、パリが近代的な都市へと変化していく歴史のなかに位置づけて論じることができるか。
10. 第一次世界大戦の開戦原因の研究は、これまで、どこで（国内外を問わず）どのようになされてきたのか、その成果や論点も含めて、具体的かつ正確に説明できるか。
11. 1968年5月のパリの学生運動について、具体的かつ正確な知識をもっているか。また、その運動がフランス政治にどのような影響を及ぼしたか、さらに運動が世界へ波及したか否か、したとすればどのように波及したかについて論じられるか。

史学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 2 外国語（史料解読） / 専門科目（                    ）

試験時間：（ 60 ）分

近世の町運営に関する諸規約を成文化した町掟のうち、古い時期のものとして知られている元和6年（1620）の下本能寺前町の町掟を出題した。

解答のポイントと採点基準はつぎのとおり。

翻刻（釈文）

森下 徹・吉田伸之編『史料を読み解く2 近世の村と町』（山川出版社、2006年）、88～89頁。

読み下し

「有るべく候」、「申さるべき事」といった訓読の基本。

現代語訳（大意）

各規約の内容が把握できるか。

史学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 1 外国語（英語） / 専門科目（                    ）

試験時間：（ 60 ）分

英語の解答のポイントおよび採点基準

歴史的な事象に関する英語の問題文の文法を理解し、適切な訳語により、適切な解釈ができているかどうか、したがって大学院で研究を続けていくのに十分な語学力を有しているかを採点基準とする。

史学 専攻 領域（ 博士前期/修士・博士後期・前後期共通 ）

試験科目：第 1 外国語（ フランス語 ） / 専門科目（ ）

試験時間：（ 60 ）分

### フランス語の解答のポイントおよび採点基準

フランス語の中等教育向け歴史教科書より出題した。採点基準および解答のポイントは、大学習得レベルのフランス語の文法的知識と、高校世界史レベルの歴史的事象・考え方の正確な理解、適切な日本語による表現力である。

史学 専攻 領域 ( 博士前期/修士・博士後期・前後期共通 )

試験科目：第 1 外国語 ( 中国語 ) / 専門科目 ( )

試験時間： ( 60 ) 分

日本における東洋学の草分け的存在として知られる内藤湖南に関する中国語の研究書、錢婉著『内藤湖南研究』（中華書局、2004年）より出題した。

中国語の読解力に加え、歴史的背景を踏まえて内容を正確に理解し、適切に現代語訳できているかを確認することを目的とした。

#### 解答のポイントと採点基準

一： 内藤湖南の生い立ちについて述べた文章である。

江戸末期の武士家庭における漢学学習のあり方、および江戸から明治への移行期における漢学教育の変化について、当時の日本の社会状況を踏まえて適切に訳出できているかを重視した。

二： 吉川幸次郎が語った中国留学の意義、すなわち留学の最大の収穫は中国人の学問に対する価値観を理解することにあるという点を扱った文章である。

さらに、そのような知見を京都学派の研究者たちがどのように研究に活用したのか、すなわち中国人と同様の感覚や思考様式を用いて中国を理解しようとした点を適切に読み取れているかを重視した。

とくに文末の「为」の用法を正しく把握できているかがポイントとなる。

三： 中国をたびたび訪問した内藤が、中国社会をどのように捉えていたのかをまとめる問題である。北京および天津の都市における知識人の特徴を理解し、それぞれの違いを整理して説明できているかを重視した。